

# 日本育種学会 第101回講演会プログラム

## 2002年春 玉川大学

3月29日	午後	幹事会 (工学部 2階第2会議室) 14:00-18:00
-------	----	----------------------------------

		第1会場 (工学部450)	第2会場 (工学部420)	第3会場 (工学部421)	第4会場 (工学部423)	第5会場 (工学部424)	第6会場 (工学部221)
3月30日	午前	遺伝子・蛋白質 101-115 9:30-12:30	ゲノム解析 201-215 9:30-12:30	遺伝資源 系統分化 301-315 9:30-12:30	品種育成 401-410 9:30-11:30  変異創成 411-415 11:30-12:30	変異解析 501-505 9:30-10:30  抵抗性 品質成分 506-515 10:30-12:30	発育生理 601-615 9:30-12:30
	午後	総会・受賞講演 13:30~16:30 (第一会場: 工学部450)					
		懇親会17:00~19:00 (りんどう食堂)					
3月31日	午前	遺伝子・蛋白質 116-130 9:00-12:00	ゲノム解析 216-230 9:00-12:00	遺伝資源 系統分化 316-330 9:00-12:00	変異創成 416-430 9:00-12:00	抵抗性 品質成分 516-530 9:00-12:00	発育生理 616-625 9:00-11:00  変異解析 626-630 11:00-12:00
	午後	遺伝子・蛋白質 131-147 13:00-16:24	ゲノム解析 231-236 13:00-14:12  品種育成 237-243 14:12-15:36  増殖 244-246 15:36-16:12	遺伝資源 系統分化 331-347 13:00-16:24	変異創成 431-444 13:00-15:48	抵抗性 品質成分 531-546 13:00-16:12	変異解析 631-640 13:00-15:00  育種情報 641-644 15:00-15:48
			グループ研究集会 16:45~18:45				

日本学術会議遺伝資源研連および育種学研連他が主催する公開シンポジウムが  
3月29日(金) 13:00-17:30 に玉川大学工学部(450号室)で開催されますのでご参加下さい。  
「日本人の生活・文化を育んだ動植物 -- 未来に語り継ぐべき遺伝資源 -- 」

3月29日 14:00 ↓ 18:00	幹事会 (工学部2階 第2会議室)
------------------------------	-------------------

1日目 (3月30日) 午前			
3月30日	第1会場	第2会場	第3会場
	◆座長 伊藤一敏 (サッポロビール植工研)	◆座長 加藤 明 (北農研)	◆座長 野村和成 (日本大生物資源)
9:30	101 ○村山誠治、半田裕一 (北農研究センター) コムギ脱共役タンパク質 (WhUCP) の中央領域を用いたミトコンドリアへの異なる2種類のタンパク質同時輸送	201 ○寺島和寿1,2、松本晃幸2、林英司3、福政幸隆2 (1 科技団・科技特、2 菌草研、3 林育セ) AFLPマーカーによるシタケ ( <i>Lentinula edodes</i> ) の連鎖地図の構築	301 ○小林麻子1、江花薫子2、椎名次男2、中島秀治3、藤井勇、長峰司2 (1 福井農試、2 生物研、3 中央農研) 稲在来品種「越前」のDNA変異の解析
9:42	102 ○船附稚子、高田兼則、加藤明、桑原達雄、西尾善太、山内宏昭 (農研機構北海道農研) 小麦粉生地物性に関連する低分子量グルテニンの二次元電気泳動による解析と遺伝子単離	202 津村義彦・谷尚樹・伊原徳子・松本麻子・岩田洋佳・吉村研介・吉丸博志・村井正文・向井謙・長坂寿俊 (森林総合研究所) スギゲノム研究の進展と今後	302 ○石川隆二1・佐藤雅志2・佐藤洋一郎3・山岸博4・島本義也5・森島啓子6 (1 弘大農学生命、2 東北大院生命、3 静大農、4 京産大、5 北大院農、6 東農大農) ブータン国にみられたイネ細胞質多型の地理的勾配
9:54	103 Islam, N., S.H. Woo, 辻本 寿, 平野 久 (横浜市大木原生研) ICAT-ESI MS/MSおよび二次元電気泳動によるコムギ18染色関連タンパク質の特徴	203 ○Vaughan, D. 1, 加賀秋人1, B. Chatieng 2, X.W. Wang 1, O.K. Han 1, P. Laosuan 2, 柏葉晃一1, 友岡憲彦1 (1 生物研、2 スラナリー工科大学) リョクトウのウドンコ病抵抗性	303 ○渡邊明1、黒田洋輔2、P. Inthapanya3、秋本正博1、本江昭夫1 (1 帯畜大 2 京都大 3 Dept. of Agric. and Ext., Laos) 東南アジアにおける野生イネ ( <i>Oryza rufipogon</i> ) の遺伝的汚染について
10:06	104 ○高井玲子、金勝一樹 (農工大農) イネ種子中に存在するプロテインキナーゼの二次元電気泳動による解析	204 ○加藤 清明1、Reid G. Palmer 2 (1 帯畜大、2 USDA, Iowa State U.) ダイスのヘテロ雌性部分不稔遺伝子のマッピング	304 ○元井由加1、佐藤和広1、南角奈美1、2、武田和義1 (1 岡大資生研、2 CREST) 中国およびその周辺国から導入したオオムギ遺伝資源の多様性評価とコアサンプルの選抜
10:18	105 ○山田剛1、服部一三2、石本政男3 (1 帝京大医真菌研究センター、2 名大生命農学、3 近中四農セ) テバリービーンズの $\alpha$ -アミラーゼインヒビター関連遺伝子の単離と解析	205 ○萩原栄輝、松平洋明、久保友彦、三上哲夫 (北大院農学研究所) テンサイの穏性回復核遺伝子に連鎖するBACクローンの単離	305 ○森田敦雄・川上知行・赤澤経也・江頭宏昌 (山形大農) 日本の在来ダイズを枝豆として利用した場合の農業諸特性に関する品種間差異
	◆座長 石本政男 (近中四農セ)	◆座長 津村義彦 (森林総研)	◆座長 山口裕文 (大阪府大農学生命科学)
10:30	106 ○Do, G. S., G. Suzuki, Y. Mukai (Osaka Kyoiku U.) Isolation of onion BAC clones containing alliinase sequences.	206 ○堀清純1、小林哲朗1、清水史2,3、佐藤和広1、武田和義1、川崎信二2 (1 岡大資生研、2 生物研、3 京大農学研究所) 高能率ゲノム走査法 (HEGS) / AFLPによるオオムギ高密度連鎖地図の短期作成	306 ○平野智也1、神戸敏成2、石川恵子1、三位正洋1 (1 千葉大園芸、2 富山県中央植物園) シラン ( <i>Bletilla striata</i> ) 未熟胚のガラス化法による超低温保存
10:42	107 ○中村 徹1、菅野 明2、中野 優1 (1 新潟大農、2 東北大院生命科学) アガバンスの花器官に特異的に発現するMADS-box遺伝子の単離	207 ○相井城太郎1,4、長野美緒2、Clayton Campbell3、足立泰二2、川崎信二1 (1 生物研、2 大阪府大院・農生命科学、3 ケイド研究所、4 科学技術振興事業団) HEGS (高能率ゲノム走査法) / AFLPによるソバ異型花柱性遺伝子座の精密マッピング	307 池谷祐幸 (農研機構本部) イワテヤマナシとアオナシの分布の現状
10:54	108 ○野田 尚信1,2、数馬 恒平1,2、菅野 善明2、鈴木 正彦2 (1 科技団・科技特、2 青森グリーンバイオ) ロベリア花弁からのフラボノイド生合成に関わるシトクロムP450分子種の単離と解析	208 ○牛島智一、熊丸敏博、佐藤光 (九大農) イネ種子におけるプロラミン変異遺伝子 <i>esp1</i> のマッピング	308 太田智1、勝木俊雄2、佐藤洋一郎1 (1 静大農、2 森林総研 多摩森林科学園) サクラ垂属の分類学的研究 (葉緑体PS-ID領域の分析)
11:06	109 ○杉本 学1、且原真木1、岡田吉弘2、佐藤和広1、伊藤一敏2、武田和義1 (1 岡大資生研、2 サッポロビール植工研) 塩ストレス抵抗性オオムギに関する研究. 1. 塩ストレスで特異的に発現する遺伝子の解析	209 ○加藤明、Zhan Qingcai (北農研) イネの生育初期の低温傷害に関係のある遺伝子及び遺伝子座の解析	309 村松幹夫 (岡山市) 日本産タケ連植物の遺伝育種学的研究 XV. ミクラザサとハチジョウスズタケの一斉開花における様相の差異
11:18	110 ○佐々木章江1、芦苺基行1、上口 (田中) 美弥子1、伊藤博紀1、西村明日香2、Datta Swapan3、斉藤臣雄4、小林正智4、北野英己5、Gurdev S. Khush3、松岡信1 (1 名大生物分子応答、2 (株) 本田技研、3 IIRI、4 理研、5 名大生命科学) 緑の革命の遺伝子 <i>sd1</i> はジベレリン生合成酵素のC20酸化酵素をコードしている	210 Sanchez, P.L., 倉員俊雄、平田千春、Sobrizal、吉村 淳 (九大院農) 野生種染色体断片導入イネを用いた脱粒遺伝子のマッピング	310 ○秋本正博、大久保友子、本江昭夫 (帯畜大) 緑肥作物遺伝資源の探索 1. スイートクローバ: クマリン代謝特性と他感作用効果

1日目(3月30日) 午前			
第4会場	第5会場	第6会場	3月30日
<p>◆座長 池口正二郎(ホクレン農総研)</p> <p>401 ○大矢武志1、藤代岳雄1、笹隈賢夫2、北宜裕1(1神奈川農総研、2横浜市大・木原研) 生食用赤クマネギ品種「OTX1」の育成</p> <p>402 ○石黒浩二、熊谷亨、甲斐由美、外山潤、中澤芳則、山川理(九州沖縄農研) 莖葉部利用さつまいも新品種「すいおう(翠王)」の特性</p> <p>403 近藤恵美子(埼玉農総研) <i>Solanum integrifolium</i> と <i>S. melongena</i> (D. M. P.) の体細胞雑種の台木特性 第2報</p> <p>404 ○原靖英、柳下良美、山元恭介、北浦健生(神奈川県農総研) バラ新品種「湘南キャンディレッド」の育成</p> <p>405 間藤正美、佐藤孝夫、柴田浩、飯塚文男(秋田県農試・野菜・花き部) 園芸育種担当花色分析を用いたトルコギキョウの育種</p>	<p>◆座長 山守 誠(東北農研センター)</p> <p>501 寺西健、○奥本裕、中崎鉄也、谷坂隆俊(京大院農) イネ染色体7上の不感光性遺伝子<i>i-Se1</i>と<i>e1</i>との対立性</p> <p>502 前川雅彦1、笹原健夫2、野田和彦1(岡山大資生研、2山形大農) インド型イネ、矮茶1号とT-65(台中65号)lgの交雑後代に見出された第4染色体の<i>Pl-lg</i>領域での異常分離</p> <p>503 加藤謙司1、小原義規1、後藤志乃1、柳沢貴司2、吉田久3、藤田雅也2(1岡山大農、2作物研、3生物研) 秋播型コムギDH集団を用いた出穂特性の遺伝解析</p> <p>504 ○高牟礼逸朗1、村井正之2(1北大院農、2高知大農) イネの穂および小穂の形態形成に関わる突然変異体の遺伝分析 - 一秋晴密穂(<i>dn3</i>)と発育停止穂(<i>rp</i>(<i>r</i>))、穂首苞葉-1(<i>nl1</i>)-</p> <p>505 ○長峰 司2、叢花1、藤巻 宏1、菊池文雄1(1東京農大、2生物研) イネ半矮性遺伝子座<i>sd-1</i>における起源の異なる対立遺伝子の優劣性関係</p>	<p>◆座長 黄島佑治(北大院)</p> <p>601 ○大船智之、久山久仁子、種坂英次、奥村俊勝、吉田元信(近畿大・農) ゴマ種子中の総タンパク質と総中性脂質に及ぼす肥料成分の影響及びoil body構成タンパク質の検定</p> <p>602 ○石崎琢磨、増田清、大澤勝次(北大院農学) ホウレンソウのエンブリオジェニックカルスにおける31-kDa塩基性タンパク質の蓄積</p> <p>603 ○伊藤純一、長戸康郎(東大農学生命科学) イネ<i>DEC</i> 遺伝子の機能</p> <p>604 ○池田恭子、永澤信洋、長戸康郎(東大農学生命科学) イネ<i>AP01</i> 遺伝子の機能解析</p> <p>605 ○村井耕二1、宮前真美子1、加藤裕美1、宅見薫雄2、荻原保成3(1福井県大生物資源、2神戸大農、3横浜市大木原生研) コムギ<i>APETALA1</i> 相同遺伝子<i>WAP1</i> は純粋早晩性に関与する</p>	<p>9:30</p> <p>9:42</p> <p>9:54</p> <p>10:06</p> <p>10:18</p>
<p>◆座長 谷坂隆俊(京大院農)</p> <p>406 ○高橋将一1、松永亮一1、小松邦彦1、羽鹿牧太2、異儀田和典3、酒井真次4、中澤芳則1(1九州研、2作物研、3国研セ、4中央研) 温暖地向け多収ダイズ新品種「サチユタカ」の育成</p> <p>407 永野邦明、松永和久、早坂浩志、千葉文弥、宮野法近、佐々木都彦(宮城古川農試) 低アミロース・極良食味水稲新品種「たきたて」の育成</p> <p>408 ○小島洋一朗1、姥谷武志1、金田宏2、土肥正幸3、石橋岳彦4、木谷吉則4、向野尚幸1、山口琢也1、表野元保1、岩田忠康1、青木浩和5、山本良孝1(1富山県農セ、2現高岡農改、3現富山県庁、4現砺波農改、5富山県病害虫防除所) 水稲新品種「コシヒカリ富山BL」系統の育成とそれらの有効的活用について</p> <p>409 池口正二郎、村井達夫、長谷川明彦、庵英俊、小松伸彦、森生元太郎、筒井一郎、熊谷利恵子(ホクレン農総研) 春播小麦新品種「春よ恋」の育成</p> <p>410 藤田雅也(作物研) 「超極早生」小麦系統の育成</p>	<p>◆座長 長峰 司(生物研)</p> <p>506 ○乙部(桐淵)千雅子1、加藤常夫2、柳沢貴司1、藤田雅也1、小前幸三1(1農研機構作物研、2栃木県農試) アラビノキシラン含量の低減化によるもち性小麦の製粉歩留改良</p> <p>507 ○高田兼則、山内宏昭、西尾善太、桑原達雄(北農研) 製パン性に対する高分子量グルテニンサブユニットの相加効果の差異</p> <p>508 ○山守 誠、加藤晶子、由比真美子(東北農研センター) 高アミロース小麦の澱粉糊化特性</p> <p>509 ハードルアラビ、カ石和英、宇津木繁子、松浦恭和、前川雅彦、野田和彦(岡山大資生研) コムギ除胚半切種子で吸水によって誘導されるα-アミラーゼの特性</p> <p>510 ○谷中美貴子、長嶺敬、石川直幸(近中四農研) コムギリボキシゲナーゼ活性の品種間差異と小麦粉色相に対する影響</p>	<p>◆座長 長戸康郎(東大農学生命科学)</p> <p>606 ○佐藤宏充1,2、半田裕一2(1北大院農、2北海道農研) ナタネ・ミトコンドリアプラスミドの分子遺伝学的解析・花粉発達過程におけるミトコンドリアプラスミドに由来するRNAポリメラーゼの発現とその局在</p> <p>607 ○萩田浩子1、宅見薫雄2、荻原保成3、村井耕二1(1福井県大生物資源、2神戸大農、3横浜市大木原生研) Pistillodyを誘発する細胞質置換コムギ系統の幼穂で特異的に発現する遺伝子のクローニング</p> <p>608 ○清水智章、村井耕二(福井県大生物資源) 細胞質置換コムギ系統における雌性稔性に及ぼす<i>Aegilops crassa</i> 細胞質の影響</p> <p>609 ○大本 剛1、細川陽一郎2、増原 宏2、松本由多加3、佐藤節哉3、足立泰二1(1大阪府大院農学生命科学、2阪大院工・VBL、3エレクトロン機器(株)) 集光フェムト秒レーザービームを用いたソバにおける雌雄配偶子の単離</p> <p>610 ○野々村賢一1、三好一丸1、鈴木温1、宮尾安藝雄2、広近洋彦2、倉田のり1,3(1遺伝研、2農業生物資源研、3総研大生命科学) 雌雄生殖細胞の初期発生に関するイネ突然変異体<i>msp1</i> でみられる雌性配偶子の形成異常</p>	<p>10:30</p> <p>10:42</p> <p>10:54</p> <p>11:06</p> <p>11:18</p>

1日目(3月30日) 午前

3月30日	第1会場	第2会場	第3会場
	◆座長 寺地 徹(京産大工)	◆座長 大飼 剛(北大農)	◆座長 高畑義人(岩手大農)
11:30	111 ○田邊麻衣子1、堤伸浩1、吉村淳2、根本圭介3 (1 東大農学生命科学、2 九大農学部、3 東大アジアセンター) teosinte branched 1 (tb1) ホモログ遺伝子はイネにおいても分げつ発育を制御する	211 ○宮田麻衣子、小森俊之、山本敬央(株式会社オリノバ) イネの株開性に関する遺伝子 <i>Spk</i> (t) 単離のための詳細連鎖地図の作成	311 ○小林賢・穴戸理恵子・野村和成・池橋宏(日本大生物資源) 低利用植物資源の改良に伴う遺伝的多様性の調査。 2. カイランの台湾在来品種群におけるアイソザイム多型性
11:42	112 ○高野裕二1、松江登久1、小泉一倫2、島田浩章2 (1(有)トッケン、2 東京理科大基礎工) クールミルを用いたイネDNAの簡易抽出法の開発	212 ○石川亮、上島脩志、石井尊生(神戸大農) イネ野生種 ( <i>Oryza rufipogon</i> ) 由来の脱粒性遺伝子のマッピング	312 ○巖花1・藤巻 宏1・長峰 司2 (1 東京農大、2 生物研) 中国新疆ウイグル自治区の水稲品種の特性解析
11:54	113 ○池田達哉1、福岡浩之1、矢野博1、萩原保成2 (1 近中四農研、2 横浜市立大・木原生研) ゲノム導入によるパン・うどん用イネ作出のための基礎研究 I. TACライブラリーからのコムギグルテニン遺伝子の単離と構造解析	213 ○永井康子、Sobrizal, P. L. Sanchez、倉員俊雄、土井一行、吉村 淳(九大院農) 種子脱粒性遺伝子座 <i>Sh3</i> はイネAゲノム4種に共通である	313 ○金文林1・石神真智子1・保田謙太郎2・山口裕文1 (1 大阪府大農学生命科学、2 佐賀大海浜地研センター) 野生アズキの分類評価 14. SSCPによるαアマラーゼ遺伝子のイントロン多型の評価
12:06	114 ○水本公大1、萩原保成2、中村千春1、宅見薫雄1 (1 神戸大農、2 横浜市大木原生研) パンコムギ品種間で超多型を示すRFLPクローン pTag546の構造解析	214 ○竹内善信、林鴻章、林少揚、矢野昌裕(生物研/STAFF・イネゲノム研究チーム) イネの種子休眠性に関する遺伝子 <i>Sdr1</i> のRFLPマーカーによる詳細なマッピング	314 石神真智子1、○山口裕文1 (1 大阪府立大学農学生命科学研究科) 野生アズキの分類評価 15. アズキとキャブツルアズキの自然雑種集団における10年後の変化
12:18	115 高橋秀和1・佐藤和広2・山崎由紀子3・武田和義2・小原雄治3 (1 秋田県大生物資源、2 岡大資生研、3 遺伝研) ダイレクトシーケンシングによるオオムギESTI由来するSNPの再確認	215 ○有村元宏、武田真、馬建鋒、吳國峰、玉井一規、一井真比古(香川大農) イネのケイ酸吸収に関わる遺伝子のマッピング	315 ○坂本晋一、金澤章、阿部純、島本義也(北大院・農) 共通の細胞質ゲノム型を持つダイズとツルマメの核ゲノムの構成は異なっている

3月30日	第1会場
13:30	総会・受賞講演 受賞講演 ★生井兵治 植物育種における受粉生物学の体系化 ★低アミロースコムギ品種育種グループ(代表者 星野次洋) 低アミロース系統「関東107号」の開発と高製めん適性小麦品種の育成 ★近江戸伸子(神戸大学発達科学部) 超微細蛍光 in situ hybridization 法の開発とそれによるイネ遺伝子の物理マッピング ★禹 仙熙(横浜市立大学木原生物学研究所) 生殖障克服による自殖性ソバ系統育成に関する研究
17:00	懇親会

2日目(3月31日) 午前

3月31日	第1会場	第2会場	第3会場
	◆伊藤純一(東大農学生命科学)	◆座長 中村千春(神戸大農)	◆座長 山岸 博(京都産大工)
9:00	116 ○矢野昌裕1・山内敦子2・山本伸一1 (1 生物研、2 STAFF研) イネ日本型品種間に見いだされた感光性遺伝子 <i>Hd1</i> ( <i>Se1</i> ) の塩基配列多型	216 ○鈴木剛1、山本真紀2、田中彰子1、トミタフーベンスノリオ3、神山康夫3、向井康比己1 (1 大阪教育大、2 関西女子短大、3 三重大生資) サツマイモ野生種S遺伝子座のFISHによる可視化	316 ○高橋光子1,2、岡村涉3、佐藤洋一郎1 (1 静大農、2 枝大連農、3 静岡市教委) 登呂遺跡から出土したイネ籾殻の形態的遺伝的変異
9:12	117 奥本裕1・中崎鉄也1・○山平論1・堀端章2・山縣弘忠2・谷坂隆俊1 (1 京大院農、2 近大生物理工) イネ易変性細粒遺伝子 <i>slg</i> と <i>Rurm1</i> 座 <i>Sairyu</i> 挿入遺伝子との対立性検定	217 ○岡本雅子、具健忠、片桐敬、佐治章子、千博吉濃、林美佳、伊藤幸代、水野浩志、吉木昭二、唐沢涉、市川洋子、吉原里枝、池野真衣子、本多美紀子、有田耕平、浜田昌雄、中島麻里奈、馬場知哉、松本隆、佐々木卓治(生物研/STAFF・イネゲノム研究チーム) イネ第1、第2、第6、第7、第8および第9染色体におけるゲノム塩基配列決定のための物理地図作成状況	317 ○佐藤洋一郎1、矢野梓2、山中慎介1,3 (1 静岡大農、2 国際日本文化研究センター、3 岐阜大連合農) 中国・城頭山遺跡から出土したイネ種子のwaxy座の解析
9:24	118 堀端章1・○大森弘弘1・中崎鉄也2・奥本裕2・谷坂隆俊2・山縣弘忠1 (1 近大生物理工 2 京大院農学) イネ細粒遺伝子 <i>slg</i> ホモ系統にみられたトランスポゾン ' <i>Sairyu</i> ' による <i>Rurm1</i> 座の塩基配列多型	218 ○脇下さおり、山本公子、金森裕之、細川聡美、濱田昌雄、山形晴美、中村まり、神谷梢、町田佳代、根岸真奈美、菊田有里、中間裕子、小野望、水林達実、遠久美子、鎌恵孫、伊藤幸恵、並木信和、青木弘良、宋健瑜、山根弘子、伊藤友子、仲道裕美、酒井久美子、片寄裕一、坂田克己、松本隆、佐々木卓治(生物研/STAFF・イネゲノム研究チーム) イネゲノム塩基配列解析- phase2シーケンシングおよびフィニッシングの進捗状況	318 ○丹野研一1・2、常木晃3 (1 岡大資生研、2 日本学術振興会、3 筑波大歴史人類学系) 北西シリア・テルエルケルク遺跡出土の炭化種子
9:36	119 富田因則、森本真由(鳥取大農) gypsy 型レトロトランスポソンのLTR様挿入配列の <i>Triticaceae</i> 族内変異	219 ○井戸沼淳子、増川正敏、Baltazar A. Antonio、柴田未知恵、伊藤裕一、松本隆、坂田克己、佐々木卓治(生物研/STAFF・イネゲノム研究チーム) イネ第1染色体のゲノム構造とその特徴	319 竹内淑子・佐藤洋一郎(静大農) RAPD法による日本列島のクスノキ樹の遺伝的多様性
9:48	120 ○松崎準、寺地徹(京産大工) 表現型を異にする <i>Ae. mutica</i> 細胞質置換コムギのミトコンドリアゲノムの比較	220 大飼 剛(北大農) イネゲノムにおけるミニサテライトと転移因子の関係	320 ○中山博真1・長峰 司2・林 長生2 (1 九州沖縄農研、2 生物研) アワのいもち病抵抗性の地理的変異

1日目(3月30日) 午前			
第4会場	第5会場	第6会場	3月30日
<p>◆座長 関藤政美(秋田県農試)</p> <p>411 山岸 博、○小川孝之(京都産大工) ダイコンとシロイヌナズナの体細胞雑種におけるオルガネラゲノムの構造</p> <p>412 ○島田多喜子1・脇田陽一1・大谷基泰1・濱田達朗1・丹野史典1・射場厚2(1石川県農短大農資研、2九大理) 形質転換イネ交配後代における2種のω-3脂肪酸不飽和化酵素遺伝子、<i>NtFAD3</i> と <i>AtFAD7</i> の発現</p> <p>413 ○木坂広明、木田隆夫(味の素中央研究所) <i>Aspergillus nidulans</i> 由来のβシロイヌナズナ遺伝子(<i>gdhA</i>)導入トマの作出と果実における遊離βシロイヌナズナ含量の改変</p> <p>414 馮 曉歌1、大山暁男2、高岩文雄3、○吉田 薫1(1東大・農学生命科学、2野菜茶研、3生物研・新生物資源創出) 分子育種によるフィテン低含有種子作出の試み</p> <p>415 ○El-Shemy, H. A1、M. M. Khalafalla1、西澤けい2、内海成2、石本政男1(1近中四農セ、2京都大院農) 遺伝子組換えによるダイズタンパク質の改良</p>	<p>◆座長 奥本 裕(京大院農)</p> <p>511 ○中村洋1、藤巻宏2、山岸賢治1、木村俊之1、鈴木雅博1、新本洋士1(1東北農研セ、2東京農大) グルテニン<i>Gl-U-D1f</i> 遺伝子からみた日本コムギの遺伝的基盤の狭隘性</p> <p>512 ○田中裕之、富田因則、安室喜正(鳥取大農) 日本コムギ品種ハルヒカリの高製パン性に関する低分子量グルテニン遺伝子</p> <p>513 馬場利邦1、長嶺敬2、池田達哉2、谷中美貴子2、久富泰資1、石川直幸2(1福山工大、2近中四農研) 日本の小麦品種についてのグリアジン遺伝子型変異の解析</p> <p>514 ○栗田加奈子1、柳沢貴司2、乙部(桐淵)千雅子2、稲津厚生1(1玉川大院農、2作物研) もち性小麦谷系A6599-4由来の変異型<i>Wx-D1</i> 遺伝子と野生型<i>Wx-A1</i>、<i>Wx-B1</i> の相互作用</p> <p>515 ○大西成人1、池田達哉2、長嶺敬2、久富泰資1、矢野博2(1福山工大、2近中四農研) 小麦品質改良のための種子貯蔵蛋白質遺伝子の研究 IV. ヒュロインドリン変異と小麦粉粒度に対する影響</p>	<p>◆座長 野々村賢一(遺伝研)</p> <p>611 松原一樹、佐野芳雄(北大院農) 組換え自殖系統を用いたイネの受精後障壁としての交雑不和合性の遺伝的解剖</p> <p>612 ○西本大祐、大西一光、長野宏則、貴島祐治、佐野芳雄(北大農) 異なる遺伝的背景下における雑種不稔遺伝子<i>S1</i> の比較解析</p> <p>613 ○伊藤勇樹、大西一光、佐野芳雄(北大院農) イネにおける発育不安定性の動態</p> <p>614 岡 洋一、土井一行、吉村 淳(九大院農) <i>Oryza glaberrima</i> 染色体置換イネの作出と評価-F1花粉不稔遺伝子の遺伝特性-</p> <p>615 ○斎藤久美、大西一光、佐野芳雄(北大農) イネ着色遺伝子<i>C(OsC1)</i> における複対立系分化と塩基配列変異の対応</p>	<p>11:30</p> <p>11:42</p> <p>11:54</p> <p>12:06</p> <p>12:18</p>

2日目(3月31日) 午前			
第4会場	第5会場	第6会場	3月31日
<p>◆座長 関 竜太郎(花き研)</p> <p>416 ○古谷規行1、日高線2、小坂能尚1(1京都農資セ、2東北農セ) ボンバードメント法によるダイズモザイクウイルス外被タンパク質遺伝子を導入したダイズ形質転換体の作出</p> <p>417 ○Shimizu, H. A1、H. A1、浅田正貴1、本橋強1、駒嶺稔2、森島啓子1(1東農大・農、2進化研) アグロバクテリウム法によるインド型イネの形質転換</p> <p>418 小川洋一、○三位正洋(千葉大園芸) 高い抗アグロバクテリウム活性をもつベータラクタム系抗生物質の探索</p> <p>419 ○小川洋一、三位正洋(千葉大園芸) アグロバクテリウム法による植物形質転換に最適なベータラクタム系抗生物質の評価</p> <p>420 ○井川智子、三位正洋(千葉大園芸) <i>Agrobacterium tumefaciens</i> 法によるスターチス(<i>Limonium sinuatum</i> Mill.)の形質転換</p>	<p>◆座長 佐藤雅志(東北大院生命科学)</p> <p>516 西村実1、小林和幸2、高野敏弥1、草場信1(1生物研 放育場、2新潟県農総研 作物研セ) 水稲における胚乳アミロース突然変異系統の登熟気温に対する反応様式</p> <p>517 ○小林和幸1、合田梢2、西村実3、河合由起子1、松井崇晃1、重山博信1、石崎和彦1(1新潟作物研、2長岡技科大、3生物研放育場) 水稲稈誘発突然変異系統の餅硬化性と熟糊化特性</p> <p>518 ○長沢和永、笹原健夫、阿部利徳(山形大農) イネ米糊層に存在しているタンパク質のアミノ酸配列分析による解析</p> <p>519 ○戸田恭子1、小野伴忠2、喜多村啓介1、中村善行1(1作物研、2岩大農) 種子タンパク質含量と豆腐の堅さとの相関における大豆品種間差</p> <p>520 藤田由美子1、高田兼則2、西尾善太2、三浦秀穂1、桑原達雄2(1帯広畜大、2北農研) かんすい添加時における小麦粉色関連形質の相互関係</p>	<p>◆座長 神山康夫(三重大生物資源)</p> <p>616 ○藤本龍、西尾剛(東北大院農学) <i>SP11</i> を用いたドットプロット分析による<i>S</i> ハプロタイプ判定</p> <p>617 ○堀崎敦史、新倉聡((株)トーホク) ニンジン(<i>Daucus carota</i> L.)の肥大と根型における生育一性に影響を与える要因の解析</p> <p>618 ○倉橋和歌子1、佐藤 耕2、千田峰生3、赤田辰治3、石川隆二1、新関 稔1、原田竹雄1(1弘前大農学生命、2青森りんご試、3弘前大遺伝子実験施設) <i>Malus</i> 属の果実サイズと細胞数および細胞肥大の関係</p> <p>619 佐藤耕1、工藤剛1、石川隆二2、赤田辰治3、千田峰生3、新関稔2、原田竹雄2(1青森りんご試、2弘前大農学生命、3弘前大遺伝子実験施設) リンゴの収穫前落果と<i>Md-ACS1</i> 型との関係</p> <p>620 ○若佐雄也1、佐藤 耕2、石川隆二1、赤田辰治3、千田峰生3、新関 稔1、原田竹雄1(1弘前大農学生命、2青森りんご試、3弘前大遺伝子実験施設) リンゴ果実におけるエチレンとライベニング関連遺伝子発現の関係</p>	<p>9:00</p> <p>9:12</p> <p>9:24</p> <p>9:36</p> <p>9:48</p>

2日目(3月31日) 午前

3月31日	第1会場	第2会場	第3会場
	◆座長 富田因則(鳥取大農)	◆座長 田中淳一(野菜試)	◆座長 鈴木 徹(野菜茶研)
10:00	121 ○芦川 育夫(中央農研、新潟大学) イネにおけるCp $\theta$ islandsと遺伝子の組織特異的発現	221 ○田中孝尚1、林 建樹2、松田長生2、鈴木三男3、 山本俊哉2 (1 東北大院生命科学、2 果樹研、3 東北大院理学) クリのSSRマーカー I. 濃縮ゲノムライブラーからのSSRマーカーの開発	321 大島正稔、○中田睦、渡辺正夫、高畑義人(岩手大農) <i>matK</i> の塩基配列に基づいた <i>Brassica</i> 属および近縁属植物の系統解析
10:12	122 ○尾崎寛子、丹野史典、澤崎絵美、和田治久、伊藤紀美子(新潟大農) Wx 遺伝子座におけるparamutation	222 山本俊哉1、田中孝尚2、正田 守幸1、壽 和夫1、林建樹1、鈴木三男3、松田長生1 (1 果樹研、2 東北大院生命科学、3 東北大院理学) クリのSSRマーカー II. SSRマーカーによる栽培グリの解析	322 ○杉山 信夫、大嶋 貞智、山岸 博(京産大工) ハクサイとキャベツにおけるミトコンドリア <i>cox</i> / <i>atp6</i> 領域の塩基配列
10:24	123 ○辻寛之1、目黒直樹1、鈴木保宏2、中園江2、堤伸浩1、平井篤志1、中園幹生1 (1 東大農学生命科学、2 中央農業総合研究センター) 冠水時および冠水解除時のイネにおけるミトコンドリア型アルデヒド脱水素酵素2 (ALDH2)遺伝子の発現解析	223 ○木村鉄也1、山本俊哉2、小曾納雅則1、澤村 豊2、齋藤寿広2、正田守幸2、壽 和夫2、松田長生2、林建樹2、伴 義之1 (1 種苗管理センター、2 果樹研) SSRマーカーによるナシの親子鑑定	323 ○大嶋 貞智、河崎 悠美、山岸 博(京産大工) ダイコンの品種間におけるミトコンドリア <i>coxI</i> 遺伝子の塩基配列多型
10:36	124 ○安倍史高、岸谷幸枝、鳥山欽哉(東北大院農) 耐冷性を異にするイネ品種間におけるalternative oxidase遺伝子発現の差異	224 ○オ 宏偉1・湯山奈々1・玉置宏之2・吉澤晃2・長谷川壽保3 (1 日本草地畜産種子協会飼料作物研、2 北海道北見農試、3 日本草地畜産種子協会北海道支所) チモシーのSSRマーカーの開発	324 ○湯口雅大、石角 亘、大迫敬義、山岸 博、寺地徹、(京産大工) 高等植物のアロザイム変異と適応に関する分子遺伝学的研究 II. Site-directed mutagenesisの手法により作製したダイコンの新しい細胞質型P6I アリルの酵素活性測定
10:48	125 ○高橋裕治1、小島晶子1,2、布施拓市3,4、山内歌子1,5、佐々木卓治3、矢野昌裕3 (1 STAFF研、2 現:中部大応用生物、3 生物研、4 生研機構、5 富山大) イネ感光性遺伝子 <i>Hd1</i> による <i>Hd3a</i> の発現制御	225 ○若生忠幸、小原隆由、Yeon-Sang Song、小島昭夫(農研機構野菜茶研) ネギにおけるSSRマーカーの開発	325 ○大迫敬義、湯口雅大、石角亘、山口圭子、寺地徹、山岸博(京産大工) 高等植物のアロザイム変異と適応に関する分子遺伝学的研究 III. ハマダイコン <i>Pgi-C</i> 遺伝子の集団内変異
	◆座長 伊藤紀美子(新潟大農)	◆座長 木村鉄也(種苗管理センター)	◆座長 石川隆二(弘大農学生命)
11:00	126 ○大槻 寛、大島正弘(農研機構 中央農業総合研究センター) イネゲノムプロジェクトのデータを基にして単離した組織特異的プロモーターの解析	226 泉田 敦、鈴木隆夫、中田栄治郎、古木利彦、勝又憲一、小林幸弘、加々美勉(株)サカタのタネ) メロンの農業形質に連鎖した新規DNAマーカーの開発	326 ○鈴木 徹1,3,4、F. Grellet2、G. Li1、C. F. Quiros1 (1 カリフォルニア大デービス、2 Perpignan大、3 筑波大農林、4 現野菜茶研) <i>Schizopetalon walkerii</i> は、アブラナ科植物の中で新しいタイプの <i>Rps2-Ck1</i> 領域を持つ
11:12	127 ○石川元一1、荻原保成2、村井耕三3、平野博之1 (1 東大農学生命科学、2 横浜市大木原生研、3 福井県大生物資源) イネ科植物におけるDL オーソログの単離とその機能解析	227 講演取り消し	327 ○森本涼子1、荻原保成2、中村千春1、宅見薫雄1 (1 神戸大農、2 横浜市大木原生研) パンコムギホメオボックス遺伝子 <i>Wknox1</i> の同祖遺伝子座間の塩基配列の比較
11:24	128 ○糺賀啓明、大津和弘、辻寛之、堤伸浩(東大農学生命科学) 環境ストレス条件下におけるイネ呼吸系遺伝子の発現	228 ○田中淳一、谷口郁也(農研機構野菜茶研) チャにおける3'側1~2塩基付加プライマーの組合せによるRAPDバンドの強調とバックグラウンドバンドの消去	328 ○鈴木英美1、村井耕三2、荻原保成1 (1 横浜市大・木原生研&院総理、2 福井県大・生物資源) コムギミトコンドリアゲノムにおける組み換えの多様性
11:36	129 ○木村理沙、岸谷幸枝(東北大院農学) イネにおける乾燥ストレスで発現誘導し、高温・乾燥耐性向上させる遺伝子の探索	229 ○河野いづみ、竹内善信、矢野昌裕(生物研/STAFF・イネゲノム研究チーム) イネゲノムシークエンスを利用したマイクロサテライトマーカーの作成	329 ○南角奈美1,2、武田和義1 (1 岡大資生研、2 CREST) マイクロサテライトマーカーを用いたオオムギ渦系統の多様性評価
11:48	130 ○戸高大輔1、沢田博司2、正木俊平1、金勝一樹1 (1 農工大農、2 北里大一般教養) キュウリ子葉における乾燥ストレス応答性遺伝子及び遺伝子産物の解析	230 ○鳥居明英、宅見薫雄、森直樹、中村千春(神戸大農) イネトビイロウンカ抵抗性遺伝子 <i>bph2</i> に連鎖するAFLPマーカーのPCRマーカーへの変換	330 佐藤 淳1、M. Torki1、大山暁男2、西村繁夫 (1 筑波大農林、2 野菜研) トマトにおける <i>Ty1-copia</i> 型レトロトランスポソンの解析

メモ

2日目(3月31日) 午前

第4会場	第5会場	第6会場	3月31日
<p>◆座長 三位正洋(千葉大園芸)</p> <p>421 ○間竜太郎、岸本早苗、柴田道夫、大宮あけみ(花き研) 'セイマリン'を用いたキク形質転換のモデル系</p> <p>422 ○玉掛秀人、紙谷元一(道立中央農試) 液体懸濁培養細胞を用いたアグロバクテリウムによるテンサイの形質転換法</p> <p>423 ○清水圭一、橋本正行、橋本文雄、坂田祐介、岡本繁久(鹿大農) <i>Agrobacterium tumefaciens</i>を用いたアサガオ(<i>Ipomoea nil</i>)の効率的な形質転換法の確立</p> <p>424 ○山岸博1、麻田恭一1、森みどり1、坂本亘2、寺地徹1(1京産大工、2岡山大学資生研) オグラ型ダイコンの雄性不稔遺伝子<math>orf138</math>を持つ形質転換タバコの作出</p> <p>425 ○小原麻里1、後藤康子2、深見正信1、丸論1(1千葉農農総研セ、2元千葉農試) 複製酵素遺伝子の導入によるキュウリモザイクウイルス抵抗性トマトの作出</p>	<p>◆座長 藤井 潔(愛知農総試)</p> <p>521 小原隆由、若生忠幸、小島昭夫(野菜茶研) ネギの初期生育量のダイアレル分析</p> <p>522 ○西見生1、田島智之2、野口絵一郎2、鯉坂秀俊2、根岸秀明2(1日本たばこ盛岡葉たばこ技セ、2日本たばこ葉たばこ研) タバコにおける立枯病抵抗性に連鎖したDNAマーカーの同定</p> <p>523 ○宮本 勝、平澤秀雄、平山正賢、岡本和之(茨城生工研) いもち病圃場抵抗性に関するQTL近傍RFLPによる日本在来陸稻の解析</p> <p>524 ○遠藤征馬1、坂紀邦1、加藤恭宏2、杉浦和彦1、矢野昌裕3、工藤哲1(1愛知農総試山間、2愛知農総試、3生物研) 陸稻「戦捷」の穂いもち圃場抵抗性のQTL解析</p> <p>525 ○石井 誠1、塔野岡卓司2、武田和義1(1岡大資生研、2作物研究所) 異なる日長下におけるオオムギの早晩性に関するQTLの解析</p>	<p>◆座長 西尾 剛(東北大院農学研究科)</p> <p>621 ○島山勝徳1.4、石黒澄徳2、岡田清孝2、高崎剛志3、日向康吉1(1採種実用技術研、2京都大院理学、3神戸大農、4現農研機構野菜茶研) ジャスモン酸処理により稔性を回復する核型雄性不稔植物の作出</p> <p>622 ○江面浩1、遊橋健一2、高田圭太3、鎌田博4(1筑波大農林遺伝子セ、2JST、3筑波大生命環境、4筑波大生物遺伝子セ) メロンのエチレン受容体遺伝子を利用した組換え植物の稔性低下技術</p> <p>623 ○掛田克行、堤真希子、神山康夫(三重大生物資源) サツマイモ野生種における放射線照射によるS遺伝子座欠失突然変異の誘発</p> <p>624 Dissanayake, D.M.R.K.K.1、○高崎剛志2、乗岡尚子3、乗岡茂巳3、中西テツ1(1神戸大院自然科学、2神戸大農、3大阪大タンパク研) ニホンナシS-RNaseの雌ざい特異的発現に関与するシス因子の解析</p> <p>625 ○光永伸一郎1、小林みどり1、大島正弘2、三ツ井敏明3(1上越教育大、2中央農研北陸研究セ、3新潟大院自然科学) イネ・アリユーロン細胞における<math>\alpha</math>-アミラーゼ合成は硫酸処理により誘導される</p>	<p>10:00</p> <p>10:12</p> <p>10:24</p> <p>10:36</p> <p>10:48</p>
<p>◆座長 玉掛秀人(道立中央農試)</p> <p>426 ○寺地徹1、小堂直彦1、黒坂光1、山岸博1、椎名隆2(1京産大工、2京府大人環) 高等植物のオルガネラゲノム工学 I. 葉緑体形質転換技術の基礎ならびに応用研究への適用</p> <p>427 ○小堂直彦1、赤木美紗子1、黒坂光1、山岸博1、椎名隆2、寺地徹1(1京産大工、2京府大人環) 高等植物のオルガネラゲノム工学 II. 外来遺伝子を葉緑体で発現する組換えタバコの作出</p> <p>428 ○多田欣史1・内海成2・高岩文雄1(1生物研、2京大食研) グルテリン欠損イネを用いて発現を高度化した外来遺伝子産物の量的解析</p> <p>429 ○寺田理枝、浦和博子、稲垣善茂1、梶根一夫、飯田滋(基生研、1現岡山山大) ジン・ターゲティング: イネ Waxy 座の相同組換えによるゲノム改変</p> <p>430 ○鈴木温1、野々村賢一1、村山裕子1、倉田のり1.2(1遺伝研、2総研大生命科学) 巨大DNAクローンのイネ細胞への導入法の検討</p>	<p>◆座長 阿部利徳(山形大農)</p> <p>526 ○竹久妃奈子、下館寿紀、亀谷寿昭、佐藤雅志(東北大院生命科学) 塩水付加水田におけるイネ耐塩性に関するQTL解析</p> <p>527 ○Javed, M.A.1,2, G. Shabbir2, S. Misoo3, T. Ishii3, O. Kamijima3(1 Grad. Sc. Sci. Tech., Kobe U., 2 Soil Sal. Res. Inst., Pakistan, 3 Fac. Agr., Kobe U.) Impact of successive salinity level on the several characters at reproductive stage in Basmati / Fine rice</p> <p>528 ○中尾紀美子1、永宮研二2、本橋隆1、森島啓子1、大川安信3、廣瀬咲子3、小沢憲二郎3、高倍鉄子2、高倍照洋4、駒嶺穂5(1東農大農、2名大院生命科学、3生物研、4名城大総研、5進化生研) カタラーゼ遺伝子(<i>katE</i>)を導入した耐塩性形質転換イネの後代における導入遺伝子の解析と形質評価</p> <p>529 ○横上晴都1、加藤浩2(1東北農研セ、2宮崎県総農試) 水稲あそみのり及びその後代系統の葉いもち圃場抵抗性</p> <p>530 ○藤井 潔1、岩崎真人2、早野由里子2、杉浦直樹1、井澤敏彦1(1愛知農総試、2北農研セ) F9イネ準同質遺伝子系統を用いた穂いもち圃場抵抗性遺伝子<math>Pb1</math>の穂いもち防除効果の定量的評価</p>	<p>◆座長 掛田克行(三重大生物資源)</p> <p>626 ○佐藤豊、西尾剛(東北大院農学) PCR-RF-SSCP (PRS)法によるイネ waxy 突然変異体の点突然変異の解析</p> <p>627 ○竹内 徹1、佐藤 毅1、佐々木純1、池谷 聡2、大波正寿2、紙谷元一1(1道立中央農試、2道立北見農試) AFLP法によるジャガイモY ウイルス抵抗性遺伝子<math>Ryhc</math>に連鎖したDNAマーカー</p> <p>628 ○松山知樹1、阿部知子1、小池邦昭2、戒崎俊一2、吉田茂男1.3(1理研植物機能、2理研情報基盤、3理研PSC) 高等植物のRLGS (Restriction Landmark Genomic Scanning) 解析 II. バーチャルRLGS: コンピューターシミュレーションによる多型スポット同定</p> <p>629 ○寺脇維1、穴戸理恵子1、野村和成1、池橋宏1、佐藤弘之2、井辺時雄2(1日本大生物資源、2農研機構作物研) イネの幼苗形質改良の育種的可能性</p> <p>630 ○大田正次、小野美穂、石本晃永、徳山秀樹、村本豊(福井県大生物資源) 一粒系コムギ早生突然変異系統における出穂期構成形質の評価と遺伝分析</p>	<p>11:00</p> <p>11:12</p> <p>11:24</p> <p>11:36</p> <p>11:48</p>

メモ

2日目(3月31日) 午後

3月31日	第1会場	第2会場	第3会場
13:00	<p>◆座長 平野 久(横浜市大・木原生研)</p> <p>131 ○千徳直樹1,2,北野英己1,長戸康郎3,今井亮三2(1名大生命科学,2北農研,3東大農学生命科学) イネMADS box遺伝子、<i>RAMD1</i> の発現解析</p>	<p>◆座長 村井耕二(福井県大生物資源)</p> <p>231 ○那須忍・鈴木淳子・太田理恵子・長谷川香奈・丹治雅夫・由井里香・北澤則之・門奈理佐・美濃部侑三(植物DNA機能研究所/植物ゲノムセンター) ジャポニカ、インデिका、および野生イネにおける一塩基多型(SNPs)の探索と解析</p>	<p>◆座長 加藤謙司(岡山大学)</p> <p>331 山口聡1、広瀬瑞絵1、村上ゆき枝1、陳亮2、松元哲3、田中淳一4(1愛大農,2中国茶葉研,3野菜茶研・機能解析,4野菜茶研・育種開発) チャの起源と伝播に関する研究 VII. RAPDマーカー解析から明らかになった中国・韓国・日本の収集系統における遺伝的多様性</p>
13:12	<p>132 ○平野博之1,和田正三2,3,菊池一浩3(1東大農学生命科学,2都立大・院理,3基生研) イネゲノムに見いだされた新しいMITE、miniSNOOPYの構造解析</p>	<p>232 ○由井里香・阪口誠二・北澤則之・門奈理佐・王子軒・美濃部侑三(植物DNA機能研究所/植物ゲノムセンター) SNPsマーカーを用いた効率的な遺伝・育種学的研究システムの開発</p>	<p>332 ○金森建1,壽和夫2,山本俊哉2,佐藤洋一郎1(1静大農,2果樹研究所) PS-IB領域の塩基配列に基づくクリ属5種の分類</p>
13:24	<p>133 ○菊池一浩1,和田正三1,2,平野博之3(1基生研,2都立大・院理,3東大農学生命科学) イネのMITE, miniSNOOPY, は薬培養によって活性化され転移する</p>	<p>233 ○林敬子1,橋本憲明2,大源正明2,芦川育夫1(1中央農総研セ,2新潟農総研) アレル特異的PCRマーカーをもちいたイネいもち病真性抵抗性遺伝子<i>Piz</i> 周辺領域におけるSNPジェノタイピング</p>	<p>333 ○尾川武史・馬彪・樽本勲・森川利信(大阪府大農学生命科学) FISH法によるヒガンバナ属種間雑種の評価</p>
13:36	<p>134 ○小泉一樹1,西田克利1,三ツ橋知沙1,真保佳納子2,藤井文子3,矢崎潤史3,岸本直己3,菊池尚志3,佐藤光4,島田浩章1(1東京理科大生物工,2STAFF,3NIAR,4九大農) 種子成熟期における細胞内シグナル伝達系に支配される遺伝子発現の網羅的解析</p>	<p>◆座長 笹原哲夫(横浜市大・木原生研)</p> <p>234 ○高木恭子・長野宏則・真島祐治・佐野芳雄(北大農) MITE-transposon displayを用いたイネ属種間の比較解析</p>	<p>334 ○山中慎介1,2,石井尊生3,福田善通4,石川隆二5,上埜喜八6,穴戸理恵子7,中村郁郎8,佐藤雅志9,佐藤洋一郎2(1岐阜大連合農,2静岡大農,3神戸大農,4国際イネ研究所,5弘前大農生,6東農大生物産業,7日大生物資源,8千葉大自然科学,9東北大生命科学) イネ遺伝資源の特性評価と利用 4. ミャンマー由来の野生イネの遺伝的特性</p>
13:48	<p>135 ○西沢八恵子1,岡野江津子1,入江強子1,市川裕章1,宇垣正志2(1生物研 2東大新領域) S65T-6FP/6US融合レポーター遺伝子の構築と高等植物における発現</p>	<p>235 ○荻原保成1,根本泰江1,村井耕二2,関原明3,4,神谷麻子3,篠崎一雄3,4,Piero Carninci5,林崎良英5,新井理6,小原雄治6,山崎由紀子6(1横浜市大・木原生研&amp;院総理,2福井県大・生物資源,3理研&amp;SC・植物ゲノム,4理研・植物分子,5理研・生体分子機能,6遺伝研) コムギ幼穂完全長cDNAの大量解析</p>	<p>335 ○田浦 悟1,遠藤 昇2,河邊弘太郎1,小川紹文3(1鹿大遺伝子,2大成建設生工研,3中国農試) アジア在来イネ白葉枯病抵抗性品種の特性と葉緑体DNA変異</p>
14:00	<p>◆座長 島田浩章(東京理科大生物工)</p> <p>136 飯田竜資1,川浦香奈子1,村井耕二2,辻本敦美3,荻原保成1(1横浜市大・木原生物研&amp;院総理,2福井県大生物資源,3DNAチップ研(株)) DNAマイクロアレイを用いたコムギ穎花分化期における遺伝子発現モニタリング</p>	<p>236 ○越谷武志1,3・竹内善信2・野々上慈徳2・山本敏央2,4・竹内香純1・矢野昌裕1(1生物研,2STAFF研,3現.富山県農技セ,4現.(株)オリノバ) 日本型水稲品種コシヒカリを用いたインド型品種Kasalathの染色体断片置換系統群の作出</p>	<p>◆座長 石井尊生(神戸大学)</p> <p>336 中山壮一郎1・露崎浩2・武田和義3・加藤謙司1(1岡山大学,2秋田県立大,3岡山大学大生研) 陝西省より導入したコムギ遺伝資源の多様性に関する遺伝学的解析 4. <i>Ae. tauschii</i> における <i>Stowaway</i> 様転移因子の構造解析と系統間変異</p>
14:12	<p>137 ○川浦香奈子1,矢崎潤史2,藤井文子2,真保佳納子3,島谷善平3,長田夕子3,橋本晶子3,太田智弥2,佐藤友紀2,本多幸子2,山本公子3,坂田克己2,佐々木卓治2,岸本直己2,菊池尚志2,荻原保成1(1横浜市大・木原生研&amp;院総理,2生物研,3STAFF研) イネにおける環境感応性雄性不稔の遺伝子発現解析 II. cDNAマイクロアレイにより得られた障害型冷害過程の遺伝子発現パターンのクラスタリング</p>	<p>◆座長 中村俊樹(東北農研セ)</p> <p>237 ○伊藤美環子,中村和弘,吉川亮(東北農研セ) 培養試験管を用いた褐色の測定によるコムギめん色の簡易選抜法</p>	<p>337 ○山根京子1,安井康夫1,大田竜也2,大西近江1(1京都大院農学,2総研大院大学先導科学) アルコール脱水素酵素(ADH) 遺伝子からみたソバ属 <i>cymosum</i> グループの系統関係</p>
14:24	<p>138 ○秋吉美穂1,遠藤昇1,吉田光毅1,矢崎潤史2,中村桂子3,藤井文子2,真保佳納子3,島谷善平3,長田夕子3,橋本晶子3,太田智弥2,佐藤友紀2,本多幸子2,山本公子3,坂田克己2,佐々木卓治2,岸本直己2,菊池尚志2(1大成建設生工研,2生物研,3STAFF研) 耐塩性品種ポッカリにおけるcDNAマイクロアレイの時間的変動</p>	<p>238 ○岡 正明,平 智子(宮城教育大) 二次元テジタイザ計測によるF1イネと親品種の止葉形の比較</p>	<p>338 大西 近江(京大院農学) チベット東部、四川省西部の野生ダツタンソバのアロザイム変異からみた栽培ダツタンソバの起源地について</p>
14:36	<p>139 ○下坂悦生1,矢崎潤史2,藤井文子2,真保佳納子3,島谷善平3,長田夕子3,橋本晶子3,太田智弥2,佐藤友紀2,本多幸子2,山本公子2,坂田克己2,佐々木卓治2,岸本直己2,菊池尚志2,半田裕一1(1北海道農研,2生物研,3STAFF研) イネcDNAマイクロアレイを用いたコムギ低温適応性関与遺伝子の探索</p>	<p>239 ○岡本和之,平山正賢,宮本勝,平澤秀雄(茨城農総セ 生物工学研) 水陸稲における遠元状態での低温土中出芽性の検定法について</p>	<p>339 ○小西武彦,安井康夫,大西近江(京都大院農学) AFLPによる普通ソバ(<i>Fagopyrum esculentum</i>)の野生集団と栽培集団の類縁関係について</p>
14:48	<p>◆座長 金沢 章(北大院農学)</p> <p>140 ○千田峰生1,葛西宏介2,渡倉隆2,赤田辰治1,石川隆二2,原田竹雄2,新関稔2(1弘大遺伝子実験施設,2弘大農学生命) 黄大豆ダイズ種皮でのカルコンシンターゼ(CHS) 遺伝子のジーンサイレンシングは種子形成段階の初期にすでに起きている</p>	<p>◆座長 藤垣順三(東農大短大)</p> <p>240 ○齊藤美香1,Patricia Vrinten1,2,根田美和子3,中村俊樹1(1東北農研セ,2カナダPBT,3岩手農農学研究所) 部分的モチコムギ選抜のためのDNAマーカー開発</p>	<p>◆座長 森川利信(大阪府大農学生命科学)</p> <p>340 ○郭 長虹,寺地 徹(京産大工) コムギ及び <i>Aegilops</i> 属植物における葉緑体変異多発領域の塩基配列比較</p>



2日目(3月31日) 午後

第4会場	第5会場	第6会場	3月31日
<p>◆座長 原田竹雄(弘前大農学生命)</p> <p>431 ○瀬尾(白澤)直美1、中村茂雄1、佐野義孝2、大橋祐子3(1宮城農園研、2京都工織大、3生物研) 外来遺伝子発現用としてのレンゲ萎縮ウイルスC8プロモーターの有用性</p> <p>432 ○草野博彰1,2、浅野敬幸1,2、島田浩幸1、門脇光一2(1東京理科大生物工、2生物研) 師部発現プロモーターを利用したシンク器官における有用物質生産の試み</p> <p>433 ○塚崎光1、釘貫靖久1,3、島山勝徳1、藤村みゆき1、春日美江2、篠崎和子2、鈴木徹1(1農研機構野菜菜研、2国際農研セ、3現農林水産技術会議) シロイヌナズナから単離されたストレス誘導性転写因子をコードする遺伝子(DREB1A)のコマツナへの導入</p> <p>434 矢頭治1、福本文良1、中島敬彦1、大島正弘1、山元剛1、樋口博也1、森浩一1、岩井孝尚2、西沢洋子2、大橋祐子2(1農研機構中央農研北陸、2生物研) エンバク・チオニン遺伝子またはイネ・キチナーゼ遺伝子を導入した組換えイネ系統の隔離圃場における栽培特性調査及び耐病性検定</p>	<p>◆座長 高野哲夫(東大アジアセンター)</p> <p>531 ○小林哲朗、佐藤和広、武田和義(岡山大資生研) オオムギ赤かび病抵抗性のQTL解析</p> <p>532 ○吉田めぐみ、河田尚之、塔野岡卓司(農研機構作物研) オオムギ赤かび病抵抗性評価の安定性及び抵抗性判定標準品種の選定</p> <p>533 能田真理子1、○許東河1、助川久美子1、陳懐谷2、坂智広1(1国際農研、2江蘇省農科院) 赤かび病抵抗性コムギ「蘇麥3号」の罹病性準同質遺伝子系統におけるDNAマーカーによる抵抗性領域の探索</p> <p>534 ○坂智広1、渡部信義2(1国際農研、2岐阜大農) 赤かび病抵抗性に関する四倍性野生コムギの第3同祖群染色体の効果</p> <p>535 中村和弘1、細田清1、川崎信二2、吉川亮1、伊藤美環子1(1東北農研、2生物研) 小麦品種Thatcherが持つ小麦赤かび病抵抗性遺伝子のSSRマーカーによるマッピング</p>	<p>◆座長 大田正次(福井県大生物資源)</p> <p>631 ○福田善通1、中野道治2、小林創平1、L.A. Ebron1、山岸真澄2、佐藤雅志3、E.S. Khush1(1国際イネ研究所、2鳥根大、3東北大) 分子マーカーを利用した遺伝・育種学的研究 23. イネの乾物生産性に関するQTL解析</p> <p>632 ○小林創平1,2、L.A. Ebron1、大崎 浩2、佐藤雅志3、福田善通1、E.S. Khush1(1国際イネ研究所、2北大院農、3東北大院生命科学) イネの分けつ数に関するQTL解析</p> <p>633 伊藤健一郎1、○原大三2、内田直次2、小林伸哉3、上島信志2、石井尊生2(1神戸大自然科学、2神戸大農、3神戸大附属農場) 野生イネ <i>Oryza meridionalis</i> および栽培イネ <i>O. sativa</i> Nipponbare 交配由来のBC2集団を用いた諸形質に関するQTL解析</p> <p>634 ○尾上 慎一、安井 秀、吉村 淳(九大院農) 日本型水稻品種金南風と台中65号の出穂期QTLの比較</p> <p>635 林 武司、栗田 崇(生物研) Pseudo-testcross法を用いた他殖性集団におけるQTL解析</p>	<p>13:00</p> <p>13:12</p> <p>13:24</p> <p>13:36</p> <p>13:48</p>
<p>◆座長 門脇光一(生物研)</p> <p>435 ○亀井一郎、高本耕三、種坂英次、吉田元信(近畿大・農) 子実形成に関連する遺伝子群の同定及びその機能解析</p> <p>436 ○岡村正愛1、安野紀子1、大塚雅子1、廣澤孝保1、田中淳2、鹿園直哉2、長谷純宏2、棚瀬正和2(1キリンビール植物開発研、2原研高崎) イオンビーム<sup>12</sup>C<sup>5+</sup>照射によるカーネーション培養系突然変異体の誘発</p> <p>437 下村菜央貴1、中島 純2、衛藤威臣、○岩井純夫1(1鹿児島大農、2鹿児島県農試) ABA非感受性ソラマメ変異体について</p> <p>438 ○武田 真1,2、大橋良子1(1香川大農、2CREST) 配偶子致死染色体を利用したコムギの背景におけるオオムギ1H染色体の構造変異の誘発</p> <p>439 ○濱絵里子1、砂川誠1、清水智章1、河原友子1、武田真2、村井耕二1(1福井県大生物資源、2香川大農) オオムギ5H染色体特異的 amplicon マーカーによるオオムギ5H染色体転座型コムギ染色体の同定</p>	<p>◆座長 坂 智広(国際農研)</p> <p>536 ○席田 淳史1、柳沢 朗2(1北海道グリーンバイオ研、2北見農試) 穂発芽耐性品種「きたもえ」を用いた穂発芽要因の分類と関連する染色体領域の探索</p> <p>537 長岡祐、内藤忠雄(明治大農) オオムギ発芽初期過程における新種子と加齢種子の差異</p> <p>538 ○黄川田智洋、村木正則、大同久明(農研機構・畜産草地研) トウモロコシ黒穂病抵抗性関連遺伝子の探索</p> <p>539 ○前田哲、堀端章、山縣弘志(近大生物理工) ジャポニカ型水稻の幼苗期耐冷性 9. 低温順化処理効果の保持期間</p>	<p>◆座長 安井秀(九大院農)</p> <p>636 ○村木正則1、池田成志2、大同久明1、黄川田智洋1、三浦優一2(1農研機構 畜産草地研、2日本草地畜産種子協会 飼料作物研) トウモロコシごま葉枯病耐性QTL解析</p> <p>637 ○田中義則、鈴木千賀、湯本節三(十勝農試) SSRマーカーによるダイズシストセンチュウ・レース1抵抗性のQTLマッピング</p> <p>638 ○高田吉丈、境 哲文、河野雄飛、島田信二(東北農研セ) 「スズタカ」のダイズシストセンチュウレース3抵抗性に関するQTL解析</p> <p>639 ○山田敏彦1,2、野村一暢2、久野裕2、E.S. Jones3、J. W. Forster3、島本義也2(1北海道農研、2北大北方生物園セ、3PBC-AV豪州) ペレニアルライグラスの耐寒性関連形質に関するQTL解析</p>	<p>14:00</p> <p>14:12</p> <p>14:24</p> <p>14:36</p>
<p>◆座長 武田 真(香川大農)</p> <p>440 ○奥隆善1、高橋弘子1、中村郁郎1、露木美英2、三位正洋1(1千葉大園芸、2玉川大農) 子房培養を用いたチヨコレートコスモス(<i>Cosmos atrosanguineus</i>)とキバナコスモス(<i>C. sulphureus</i>)の種間雑種作出及びその類縁関係</p>	<p>◆座長 藤村達人(筑波大農林工系)</p> <p>540 ヌルル クマイダ1、ディディ ソパンディ2、高野哲夫1(1東大アジアセンター、2ポゴール農科大) ダイズの遮光ストレスへの適応 (II) 遮光耐性が異なるダイズ品種の光合成特性</p>	<p>640 ○海内裕和1、春日重光1、我有満2、矢野昌裕3、長村吉晃3、佐々木卓治3(1長野畜試、2北農研、3生物研) 「ソルガム×スーダングラス」の連鎖地図を用いた再生性・耐病性に関するQTL解析</p>	<p>14:48</p>

2日目(3月31日) 午後

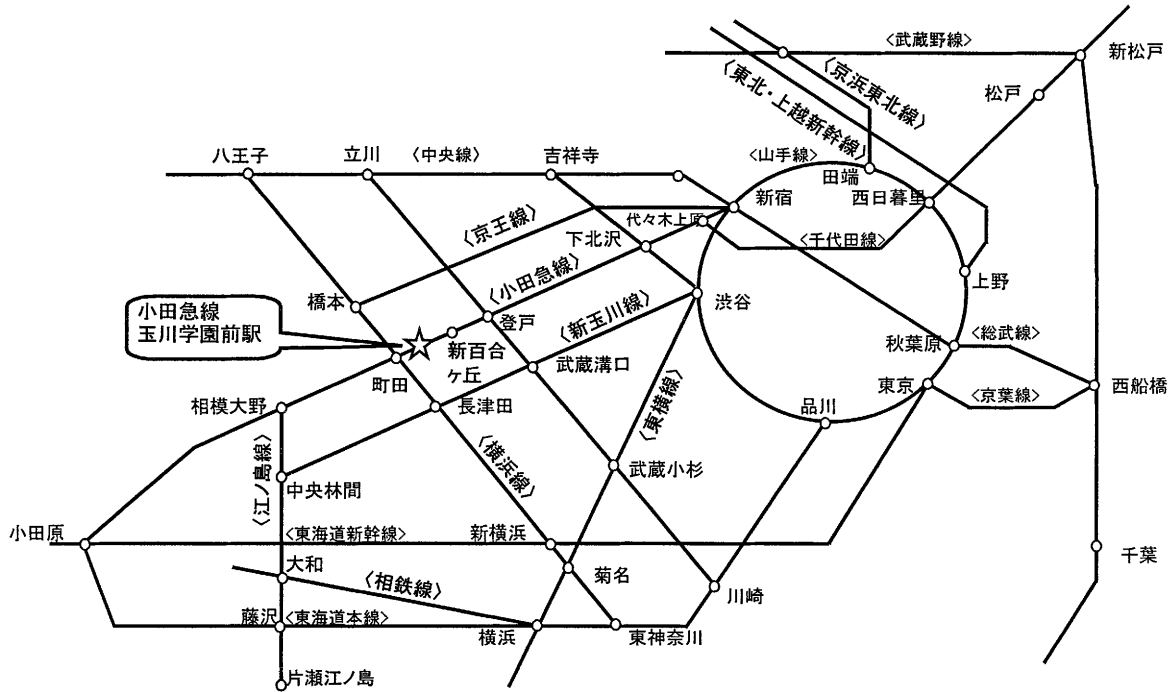
3月31日	第1会場	第2会場	第3会場
15:00	◆座長 金沢 章(北大院農学)	◆座長 藤垣順三(東農大短大)	◆座長 森川利信(大阪府大農学生命科学)
15:00	141 吉原利一、○姜延波、増田太郎、後藤文之(電中研・生物学) 細胞内局在を異にする外来フェリチン導入タバコにおける、内生フェリチン遺伝子の発現について	241 ○深沢(赤田)朝子1、工藤剛2、佐藤耕2、今智之2、初山慶道1、五十嵐恵1、鈴木正彦1(1青森県グリーンバイオ、2青森県りんご試) DNAマーカーを利用したリンゴ育種母本の評価とデータベース化の試み	341 ○榎宏征、濃沼圭一、三木一嘉(北農研) SSRマーカー多型によるデント種×フリント種F1品種由来のトウモロコシ自殖系統の系列分け
15:12	142 ○宅見薫雄、鳥居明英、広沢秀二郎、小林史典、大野良子、中村千春(神戸大農) パンコムギ低温誘導性遺伝子群の発現パターンに基づく分類	242 米澤勝衛1、石井卓朗2(1京産大工、2農水省技術会議) 確率効率指数による選抜方法の最適化：他殖性植物における主要選抜方式の効率比較	342 ○加賀秋人、X.W. Wang, O.K. Han, 柏葉晃一、友岡憲彦、D. Vaughan(生物研) SSRマーカーを用いたアズキ栽培一雑草一野生複合の解析 1. 1つの自生集団内に見出された遺伝的変異
15:24	143 Ahmed, N., S. Utsugi, E. Himi, M. Maekawa, K. Rikiishi, T. Matsura and K. Noda (Res. Inst. Biores., Okayama Univ.) Wheat Rc gene for coleoptile colour regulates the expression of DFR gene in developing coleoptile.	243 ○石井卓朗1、米澤勝衛2(1生物研、2京産大工) 確率理論モデルによる生産力検定試験方式の検討：多年次データを用いた一括選抜方式との比較による多段階選抜方式の有効性について	343 ○小島昭夫1、小原隆由1、若生忠幸1、吉田昌美2、島崎聡3(1野菜茶研、2トキタ種苗、3協和種苗) 形態特性および生長特性の解析に基づくネギの種内分類
15:36	◆座長 千田峰生(弘大遺伝子実験施設)	◆座長 深沢(赤田)朝子(青森グリーンバイオ)	◆座長 中野 優(新潟大農)
15:36	144 ○水見英子、野田和彦(岡山大学資生研) コムギ粒色に関するアントシアニン合成系遺伝子DFRの染色体座位置と発現	244 滝田 正1、山口誠之2(1作物研、2東北農研セ) ハイブリッドライス採種における日本型維持系統の花粉親能力の品種間差異	344 西谷篤1、田中克典1、明石由香利1、若生忠幸2、榊田正治1、加藤謙司1(1岡山農大、2野菜茶研)東・南アジア在来メロンのRAPD分析に基づくマクワ・シロウリの起源の解析
15:48	145 ○金澤 章(北大院農学) ペチュニアの花弁の限られた細胞群におけるRNAサイレンシングの誘導	245 小田島善子、浮登明子、菅野良美、福井希、和久井健司、藤垣順三(東農短大) クリスマスローズの胚軸からのシュート誘導	345 Tran, D. Suu1、○福岡修一2、江花薫子2、Luu N. Trinh1、奥野員敏3、長峰 司2(1ベトナム農業科学研、2生物研、3北海道農研セ) ベトナム在来イネ品種における品種内変異の解析
16:00	146 ○山田恭司、市川 優、増田恭次郎、若杉達也(富山大理学生物) ゴマの花および花外蜜腺におけるMADS-box遺伝子の発現解析	246 ○星伸枝1、多田徹1、仲谷房治2、阿部潤1(1岩手県農研研セ、2岩手県北農研) 葉片培養によるエゾリンドウの増殖	346 ○石田正彦1、江花薫子2、福岡修一2、山守 誠1、長峰 司2(1東北農研、2生物研) RAPDマーカーによる日本産Brassica napus 遺伝資源の遺伝的多様性解析
16:12	147 ○佐藤浩二1、小島恵一2、大根田英祐2、矢作渡2、鈴木宏史2、並木高洋2、大里直樹3、河合純3、カルニンチ ピエロ3、林崎 良英3、大友泰裕4、村上和雄4、松原謙一4、山下智也5、東憲児5、鹿島剛輝5、鷲尾尊規5、富田 勝5、菊池尚志1(1生物所、2日立ソフトウェアエンジニアリング、3理研・GSC、4国際科学振興財団、5慶応大学・先端生命科学) イネの完全長cDNAにおける5'と3'領域の多型		347 石坂宏1、奥隆善2、三柴啓一郎2、三位正洋2(1埼玉農総研セ園芸支所、2千葉大園芸) シクラメン・ロールフシアナムの倍数性

	工学部220番教室	第2会場	第3会場
16:45 ↓ 18:45	グループ研究会 I 新しい「農の世界」を探る II, その7 世話人：高木 俊江(東大農) 話題提供 小川 文昭(長野県伊那谷) 「今年も、カメラ片手に農作業..」	グループ研究会 II 第31回 生物進化・細胞遺伝学話会 世話人：大田 正次(福井県大) ：藤垣 順三(東京農大短大) 話題提供 森 直樹(神戸大農) 「二粒系コムギはどこで栽培されたか」 -核および葉緑体DNAの変異から その起源を探る-	グループ研究会 III 第14回 花卉の細胞育種研究会 世話人：國武 久登(宮崎大農) ：中野 優(新潟大農) ：加藤淳太郎(愛教大生物領域) 話題提供 齋藤 宏之(新潟大農) 「ユリ科花卉園芸植物における マイクロRNAの調製」

2日目(3月31日) 午後			
第4会場	第5会場	第6会場	3月31日
◆座長 武田 真 (香川大農)	◆座長 藤村達人 (筑波大農林工系)	◆座長 矢野圓裕 (生物研)	15:00
441 ○多和田圭一1, 三柴啓一郎2, 三位正洋1 (1 千葉大自然科学、2 岩手生工研) Asparagus 茎組織からのカルス誘導時における polysomaty pattern の変化	541 佐々木浩之1, 矢ヶ崎和弘2, 中嶋鉄也1, 石川吾郎1, 奥本裕1, 谷坂隆俊1 (1 京大農院、2 長野県中農研) ダイズにおける発芽前冠水抵抗性と低酸素ストレス耐性との関係	641 生井兵治 (土浦市) 日本の農業と農学が栄えるための学校教育を植物育種との関連で考える (3) 高等学校における生物教育の実態	
442 ○盧忠思1, 千田峰生2, 石川隆二1, 赤田辰治2, 原田竹雄1, 新聞稔1 (1 弘大農学生命、2 弘大遺伝子実験施設) イネのランドマーカーを用いた突然変異のホットスポット領域の同定	542 ○船附秀行1, 黒崎英樹2, 邑上豊隆1, 松葉修一1, 川口健太郎1, 湯本節三2, 佐藤裕1 (1 北海道農研、2 十勝農試) ダイズ品種間に見られるAPXアイソザイムの多型と耐冷性との関連	642 ○生出真里1, 二宮正士2, 加々美勉3 (1 九州沖縄農研、2 中央農研、3 (株) サカタのタネ) ブロッコリー花蕾画像の構造解析による大きさの揃い程度の評価	15:12
443 ○倉田裕介1, 盧忠思1, 千田峰生2, 石川隆二1, 赤田辰治2, 原田竹雄1, 新聞稔1 (1 弘大農学生命、2 弘大遺伝子実験施設) イネのランドマーカーを用いたX線による突然変異領域の解析	◆座長 船附秀行 (北海道農研)	643 矢野健太郎1,3, 山崎由紀子2, 佐藤和広3, 武田和義3, 小原雄治2 (1 CREST, 2 国立遺伝研, 3 岡大資生研) オオムギESTからのUnigene構築法の比較	15:24
444 ○月森教之1, 畑中一郎1, 高城啓一2, 北村智3, 井上雅好1 (1 京府大農、2 若狭湾工研セ、3 原研高崎) タバコ種間雑種 (Nicotiana glauca Domin × N. tabacum L.) の染色体倍加個体と両親との戻し交雑次代で認められる胚軸および根の褐変現象	543 瀬名波忍1, 伊藤裕之1,2, ○佐藤和広1, 武田和義1 (1 岡大資生研、2 CREST) オオムギにおけるアルミニウム耐性遺伝資源の選抜	644 ○米丸淳一1, 中村俊樹1, 齋藤美香1, 新畑智也2 (1 東北農研セ、2 日本製粉中央研) マイクロアレイ解析のための遺伝子発現データの可視化と動的注釈について	15:36
	544 ○日下雅之1, 藤村達人2 (1 筑波大農学、2 筑波大農工系) 耐乾性作物パルミレットの水欠ストレスによる根の伸長阻害および地上部浸透圧調節能力が地上部生育に与える影響		15:48
	545 ○長岡修一1, 佐藤修正2, 加藤友彦2, 田畑哲之2, 中村正展3, 長谷あきら4, 高野哲夫1 (1 東大アジアセンター、2 かずさDNA研、3 東大理学系、4 京大理学) アラビドプシスSTO遺伝子の過剰発現による耐塩性上昇とsto欠変異体の検索		16:00
	546 ○廣瀬咲子1, 川東広幸1, 小島美咲1, 小沢憲二郎1, 大川秀郎2, 大川安信1 (1 生物研、2 神戸大遺伝子実験セ) ブタP4502C49を導入したイネの除草剤耐性		16:12

第4会場	第5会場	第6会場	
グループ研究会 IV 世話人：岩田 洋佳 (森林総研) 話題提供 佐藤 和広 (岡大資生研) 「オオムギの遺伝解析、育種とゲノム研究」	グループ研究会 V 受粉生物学の育種への展開 (第2回) 世話人：大澤 良 (筑波大農林) ：渡辺 正夫 (岩手大農) 話題提供 角田 勉 (カネコ種苗) 「自家不和合性のいい加減さ」 話題提供 加藤 謙司 (岡山農大) 「種苗産業におけるF1純度の重要性とその検定法」	グループ研究会 VI 第4回 水稲育種グループ研究会 世話人：小牧 正子 (石川農研セ) ：岡本 吉弘 (拓殖大北海道短大) 話題提供 小川 泰一 (生物研) 「イネの単離花粉培養」 話題提供 矢頭 治 (中央農研セ北陸研究セ) 「Tos17 と培養変異」	16:45 ↓ 18:45

# 〔周辺案内図〕



## 交通案内

【新宿駅から】

小田急線にて、新宿(急行)→新百合ヶ丘(各停・準急のりかえ)→玉川学園前 所要時間約40分

【新横浜駅から】

JR横浜線にて新横浜(各停・快速)→町田、小田急線のりかえ、町田(各停・準急)→玉川学園前 所要時間約40分

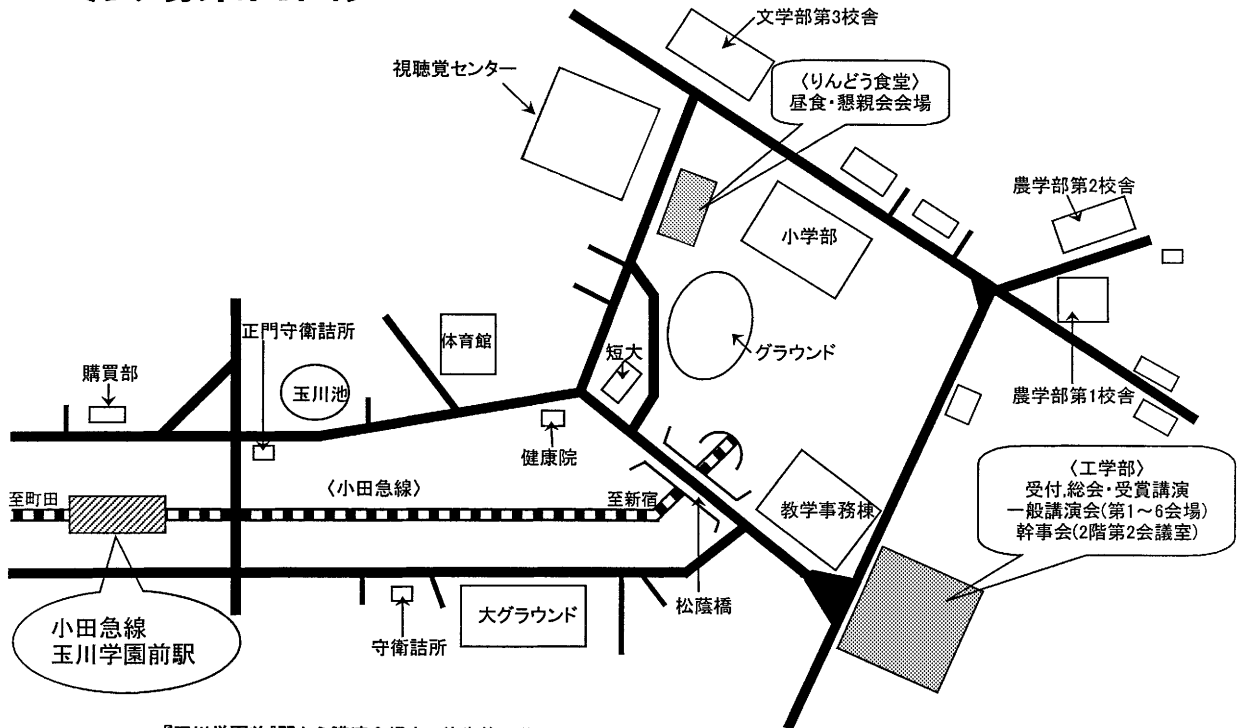
【成田空港から】

JR成田エクスプレスにて、新宿経由→小田急線にて、玉川学園前 所要時間約2時間30分

【玉川学園前駅から会場まで】

徒歩約15分

# 〔会場案内図〕



『玉川学園前』駅から講演会場まで徒歩約15分